

30小平特第748号

平成30年6月11日

関係者の皆様へ

東京都立小平特別支援学校

校長 加藤 洋一

(公印省略)

平成30年度ICT研修会夏季連続講座「ICTの活用と可能性」の御案内について

皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年度に引き続き、重度の障害をもつ児童・生徒におけるコミュニケーション能力向上を図るため、視線入力装置の活用の可能性及びiPadの活用の可能性について下記の通り、伊藤 史人氏、福島 勇氏、高松 崇氏による講演と実践紹介のワークショップの研修会を実施することとなりました。御多忙中とは思いますが、多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

- 趣 旨 重度・重複障害の児童・生徒のコミュニケーション指導の改善を図る
～ICT・ATの可能性を広げる活用と肢体不自由児・病弱児の支援～
- 日 時 (第1日) 平成30年8月7日(火) 9時00分から17時00分まで
(第2日) 平成30年8月8日(水) 9時00分から17時00分まで
(第3日) 平成30年8月9日(木) 9時00分から17時00分まで
- 会 場 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院 研修棟
ユニバーサルホール1、2(1日目、2日目) 別紙参照
ユニバーサルホール2 (3日目) 別紙参照
- 対象者 病院や在宅訪問の重度・重複障害児を担当する教職員(病弱教育支援員も含む)
及び本病院に入院中及び通院中の児童・生徒、保護者、
東京都肢体不自由教育教職員、医療関係者等、
(別紙の参加申し込み用紙に御記入の上、メールにて送信ください。)
定員 100名
- 講演テーマ 「ICT・AT活用した重度障害者(児)のコミュニケーションと学習支援」
- 講師 島根大学総合理工学研究科 助教 伊藤 史人 氏
福岡市立今津特別支援学校教諭 支援専科 福島 勇 氏
NPO 支援機器普及促進協会 理事長 高松 崇 氏
- 主催 東京都立小平特別支援学校

8 内 容

第1日 8月7日(火) 講師 伊藤 史人 氏 (10時から講義)

- ・これからの支援機器 (MR・視線入力式 VR 等) の紹介
- ・最新スイッチ機器 (筋電センサー等) の実演
- ・ICTを活用した重度障害者のコミュニケーションと学習の事例
- ・ゲーム (視線・スイッチ) を活用した QOL 向上の取り組み例
- ・視線入力装置によるゲームや学習ソフトの活用事例

第2日 8月8日(水) 講師 福島 勇 氏

- ・ICTを活用した重度障害者のコミュニケーションと学習の事例
- ・iPadのiOSスイッチコントロールを活用した実践について
- ・ワンスイッチの活用の実践
- ・スペシャルトーク・イベント

伊藤史人氏、福島勇氏、高松崇氏らによるトークイベント

第3日 8月9日(木) 講師 高松 崇 氏

- ・iPadを活用した重度障害者のコミュニケーションと学習の事例
- ・重度心身障害児へのiPadによるAT/AAC活用の実践について
- ・新たなアプリの活用事例について

9 問い合わせ

(担当)

東京都立小平特別支援学校武蔵分教室

副校長 岩下 桂郎

主幹教諭 田添 敦孝 メール Nobuyuki_Tazoe@member.metro.tokyo.jp

〒187-0031 東京都小平市小川東町4-1-1

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院内

電話、FAX: 042-344-4537

平成 30 年度東京都立小平特別支援学校

ICT 研修会夏季連続講座ご案内

皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年度に引き続き、重度の障害をもつ児童・生徒におけるコミュニケーション能力向上を図るため、ICT研修会夏季連続講座「ICTの活用と可能性」視線入力装置の活用の可能性及びiPadの活用の可能性について下記の通り、伊藤 史人氏、福島 勇氏、高松 崇氏による講演と実践紹介のワークショップの研修会を実施することとなりました。また、8月8日は伊藤史人氏、福島勇氏、高松崇氏によるスペシャルトーク・イベントを企画いたしました。御多忙中とは思いますが、多くの皆様の参加をお待ちしております。

日 時 (第1日) 平成30年8月7日 (火) 9時00分から17時00分まで
(第2日) 平成30年8月8日 (水) 9時00分から17時00分まで
(第3日) 平成30年8月9日 (木) 9時00分から17時00分まで

会 場 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院 研修棟
ユニバーサルホール1、2 (1日目、2日目) 別紙参照
ユニバーサルホール2 (3日目) 別紙参照



講師 島根大学総合理工学研究科 助教 伊藤 史人 氏
福岡市立今津特別支援学校教諭支援専科 福島 勇 氏
NPO 支援機器普及促進協会 理事長 高松 崇 氏

対象者 病院や在宅訪問の重度・重複障害児を担当する教職員（病弱教育支援員も含む）及び本病院に入院中及び通院中の児童・生徒、保護者、東京都肢体不自由教育教職員、医療関係者等、(学校 HP から別紙の参加申し込み用紙に御記入の上、メールにて送信ください。)
定員 100名

問い合わせ

東京都立小平特別支援学校武蔵分教室
副校長 岩下 桂郎
主幹教諭 田添 敦孝
〒187-0031 東京都小平市小川東町4-1-1
国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院内
電話、FAX: 042-344-4537

平成 30 年度 ICT 研修会夏季連続講座「ICT の活用と可能性」 I について

- 1 趣 旨** 重度・重複障害の児童・生徒のコミュニケーション指導の改善を図る
～視線入力装置を活用した肢体不自由児・病弱児の支援～
- 2 日 時** 平成30年8月7日（火） 9時00分から17時00分まで
視線入力装置の活用に関する講演及びワークショップは 13時からです。
- 3 会 場** 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院 研修棟
ユニバーサルホール 1, 2 別紙参照
- 4 講演テーマ** 「視線入力装置を活用した新たなコミュニケーションと学習支援」
～ローコスト視線入力装置を活用した実践について～
- 5 講師** 島根大学総合理工学研究科 助教 伊藤 史人 氏
- 6 内 容**

- ・ これからの支援機器（MR・視線入力式VR等）の紹介
- ・ 最新スイッチ機器（筋電センサー等）の実演
- ・ ICTを活用した重度障害者のコミュニケーションと学習の事例
- ・ ゲーム（視線・スイッチ）を活用したQOL向上の取り組み例
- ・ 視線入力装置によるゲームや学習ソフトの活用事例

9:00 あいさつ

9:05 最新機器紹介に関する紹介

10:00 講義 基礎編

12:00 休憩

13:00 講演 実践編

16:00 ワークショップ 視線入力装置によるコミュニケーション支援機器等

17:00 閉会終了



講師紹介

伊藤 史人（いとう ふみひと）氏

博士（ソフトウェア情報学）
島根大学総合理工学研究科 助教
<プロフィール>

東京都中野区出身。一橋大学情報基盤センター助教を経て現在にいたる。島根大学は赴任3年目。3次元医療画像の研究のかたわら福祉情報工学にかかわる。福祉情報工学では、神経・筋疾患患者のコミュニケーション支援技術に取り組む。平成29年10月に氏が開発した重度障害者向け視線入力訓練ソフト「EyeMoT」が高く評価され、国際コンクール「第44回日本賞」（NHK主催）で、最優秀の経済産業大臣賞を受賞した。

平成30年度ICT研修会夏季連続講座「ICTの活用と可能性」Ⅱについて

- 1 趣 旨 重度・重複障害の児童・生徒のコミュニケーション指導の改善を図る
～iPad活用を中心にICT・ATの可能性を広げる活用と病弱児の支援～
- 2 日 時 平成30年8月8日（水）9時00分から17時00分まで
- 3 会 場 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院 研修棟
ユニバーサルホール1、2（別紙参照）
- 4 講演テーマ「ICT・AT活用した重度障害者（児）のコミュニケーションと学習支援」
～iPad活用（アクセシビリティやアプリ）について～
- 5 講師 福岡市立今津特別支援学校教諭 支援専科 福島 勇 氏

6 内 容

- ・ICTを活用した重度障害者のコミュニケーションと学習の事例
- ・iPadのiOSスイッチコントロールを活用した実践について
- ・ワンスイッチの活用の実践

9:00 開会 あいさつ

9:05 講演及びワークショップ

iPad活用（アクセシビリティやアプリ）ワークショップ（実践編①）

12:00 休憩

13:00 講演 iPad活用（スイッチコントロール）ワークショップ（実践編②）

16:00 スペシャルトークイベント

伊藤史人氏、福島勇氏、高松崇氏らによるトークイベント

17:00 閉会終了



講師紹介

福島 勇 氏

<プロフィール>

昭和35年11月21日、福岡県生まれ。

昭和58年3月、国立福岡教育大学教育学部を卒業。

平成元年4月より福岡市立今津養護学校（肢体不自由）での勤務を皮切りに特別支援教育に携わる。これまでの特別支援学校勤務の大半で養護・訓練専科や自立活動専科を務め、主に肢体不自由児や重度・重複障害児へのAACおよびAssistive Technologyのコーディネートを担当。

平成 30 年度 ICT 研修会夏季連続講座「ICT の活用と可能性」Ⅲについて

1 趣 旨 重度・重複障害の児童・生徒のコミュニケーション指導の改善を図る
～iPad 活用を中心に ICT・AT の可能性を広げる活用と病弱児の支援～

2 日 時 平成30年8月9日（木）9時00分から17時00分まで

3 会 場 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院 研修棟
ユニバーサルホール2（別紙参照）

4 講演テーマ 「iPad を活用した重度障害者のコミュニケーションと学習について」（仮称）
～iPad 活用（アクセシビリティやアプリ）について～

5 講師 NPO 支援機器普及促進協会 理事長 高松 崇 氏

6 内 容

- ・ iPadを活用した重度障害者のコミュニケーションと学習の事例
- ・ 重度心身障害児へのiPadによるAT/AAC活用の実践について
- ・ 新たなアプリの活用事例について

9:00 開会 あいさつ

9:05 講演及びワークショップ

重度心身障害児のICT・ATの活用したコミュニケーションについて（実技編①）

12:00 休憩

13:00 講演 iPad活用（最新のアプリ）ワークショップ（実技編②）

17:00 閉会終了



講師紹介

高松 崇 氏

<プロフィール>

京都市教育委員会 総合育成支援課 専門主事

京都府 特別支援教育京都府専門家チーム（宇治支援学校 SSC）

NPO 支援機器普及促進協会 理事長

平成 30年 6 月 11日

※ 平成30年7月27日（金）までにメールで送信下さい。

大変に申し訳ありませんが、会場の都合上、先着100名様で締め切らせていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。キャンセルの際は、代理の方の参加をお願いします。

メールアドレス Nobuyuki_Tazoe@member.metro.tokyo.jp

平成30年度 ICT 研修会夏季連続講座「ICTの活用と可能性」参加申込書

	参加者氏名	職種	所 属	希望の研修会に○
1				・ 第1日参加 ・ 第2日参加 ・ 第3日参加 ・ 全日参加
2				・ 第1日参加 ・ 第2日参加 ・ 第3日参加 ・ 全日参加
3				・ 第1日参加 ・ 第2日参加 ・ 第3日参加 ・ 全日参加
4				・ 第1日参加 ・ 第2日参加 ・ 第3日参加 ・ 全日参加
5				・ 第1日参加 ・ 第2日参加 ・ 第3日参加 ・ 全日参加
6				・ 第1日参加 ・ 第2日参加 ・ 第3日参加 ・ 全日参加

※ ご不明な点がございましたら、下記の田添までご連絡ください。

<連絡> 東京都立小平特別支援学校武蔵分教室 主幹教諭 田添敦孝

〒187-0031 東京都小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内

電話 042-344-4537 メールアドレス Nobuyuki_Tazoe@member.metro.tokyo.jp

〒187-0031 東京都小平市小川東町4-1-1

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院

電話、FAX: 042-344-4537



交通案内
西武線 萩山駅 徒歩 5分
西武線 青梅街道駅 徒歩 15分
JR線 新小平駅 徒歩 15分